



Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department

Av. Paulista, 1274 – Bela Vista
São Paulo, SP – 01310-925

1. マーケット・レート

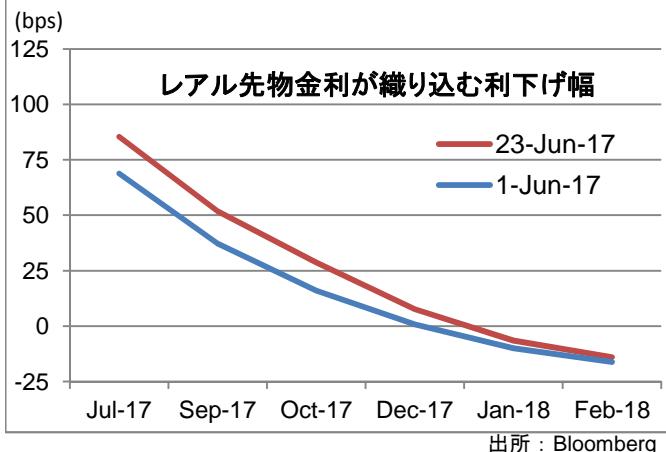
			6月19日	6月20日	6月21日	6月22日	6月23日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.2830	3.3270	3.3360	3.3420	3.3430	+0.0010
	BRL/JPY	Spot	33.98	33.50	33.40	33.31	33.29	-0.02
	EUR/USD	Spot	1.1150	1.1132	1.1168	1.1153	1.1194	+0.0041
	USD/JPY	Spot	111.54	111.46	111.40	111.32	111.28	-0.04
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	9.06	9.08	9.04	9.01	9.01	u.c.
	Future	1Year(p.a.)	8.86	8.91	8.87	8.86	8.86	u.c.
	On-shore	6MTH(p.a.)	2.339	2.420	2.453	2.453	2.422	-0.031
	USD	1Year(p.a.)	2.505	2.548	2.557	2.557	2.523	-0.034
株式	Bovespa指數		62,014.03	60,766.16	60,761.74	61,272.21	61,087.14	-185.07
CDS	CDS Brazil 5y		237.74	241.33	246.19	242.68	240.65	-2.03
商品	CRB指數		171.283	169.658	167.424	166.500	167.74	+1.244

* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデイケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

2.週間市況、トピックス

- 今週のレアルはテメル大統領の汚職隠蔽疑惑が発生した5月18日以来となる3.34台後半へ下落。
- 週初のレアルは3.2880で寄り付いた。週前半に上院の小委員会で労働法改正案が否決され、本会議での議案承認への警戒感から3.3400まで急落。その後、週後半にかけては原油価格下落を受けて資源国通貨が売られる中で軟調な動きが継続し、大口の資金流出としきりアル売りが見られたことで週間安値となる3.3480まで下落。結局3.3430で越週した。
- 伯中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2017年が0.41%から0.40%へ、2018年は2.30%から2.20%へ下方修正された。インフレ率予想は2017年が3.71%から3.64%へ、2018年は4.37%から4.33%へ下方修正。為替レートは2017年末が3.30、2018年末は3.40でそれぞれ据え置かれた。
- 20日、上院の社会問題審議委員会(CAS)は政府の労働法改正案を賛成9票、反対10票で否決した。但し、これにより同法案が廃案となるわけではなく、憲政委員会(CCJ)などの審議を経て、7月上旬に上院本会議で採決が実施される予定。否決を受けてテメル政権に対する議会の支持低下が改めて確認された。
- 23日に発表された6月の伯インフレ率(ICPA-15)は前年比+3.52%と前月の+3.77%から低下。食料や交通(エタノール・ガソリン)の分野が低下を牽引した。
- 今週、テメル大統領に関する汚職捜査を行っている連邦検察庁は、大統領を3件の異なる容疑で最高裁判所に告発する予定と報じられた。大統領に対する刑事訴訟の審理開始には下院議会で3分の2の同意を要する。下院は3件の各々について個別に審議・採決を行う必要があり、年金改革の議会審議がさらに停滞するとの懸念が高まっている。

3.今週のチャート&ハイライト



7月COPOMについて市場の見方が割れる

伯中銀は22日、四半期毎のインフレレポートを公表した。市場予想に基づく金利および為替レートを前提としたインフレ見通しについて、2017年の見通しを4.0%から3.8%へ下方修正し、2018年は4.5%で据え置いた。インフレ水準は引き続き好ましい水準と指摘。金融政策については、政府による改革の先行きが不確かなことから次回会合(7月25、26日開催)での利下げ幅を前回の▲1.00%から縮小することに改めて言及したが、データ次第で柔軟に対応することも示唆した。23時点で金利先物市場が織り込む7月の利下げ幅は約▲0.85%。インフレ低下を背景に、利下げ幅が▲0.75%まで縮小されるかは市場でも見方が分かれている。



4.来週の為替市場注目点

予想 ドル・レアル相場レンジ：3.30—3.40

来週のレアルは引き続き軟調な動きを予想する。今週、上院の小委員会で労働法改正案が否決され、テメル大統領の議会における支持基盤の弱体化が確認された。同改正案は7月上旬に上院本会議で採決が行われる見込み。大統領に対する支持の状況を確認する上で票数の結果は注目されるが、可決された場合でもテメル政権への信頼が急速に高まると判断される展開は期待しづらい。また、汚職捜査を巡る動きでは連邦検察庁による大統領の告発が来週行われる可能性がある。年金改革法案の審議が停滞するとの懸念が高まりやすい状況下、レアルは弱含みに推移するものと見込む。

5.本日の主要経済指標

国	イベント	予想	実績	前回
ブラジル	FGV CPI IPC-S	-0.13%	-0.12%	0.13%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	0.11%	0.16%	0.24%
ブラジル	IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	3.48%	3.52%	3.77%
ブラジル	CNI Consumer Confidence	--	100.5	100.6
ブラジル	CNI産業信頼感	--	51.9	53.7
米	新築住宅販売件数	590k	610k	569k
米	新築住宅販売件数(前月比)	3.7%	2.9%	-11.4%

6.来週発表される主要経済指標

国	日付	イベント	期間	予想	前回
ブラジル	6/26	FGV消費者信頼感	Jun	--	84.2
ブラジル	6/27	FGV建設コスト(前月比)	Jun	1.28%	0.13%
ブラジル	6/27	経常収支	May	\$1900m	\$1153m
ブラジル	6/27	海外直接投資	May	\$3000m	\$5577m
ブラジル	6/28	PPI 製造業(前年比)	May	--	2.15%
ブラジル	6/28	ローン残高(前月比)	May	--	-0.20%
ブラジル	6/28	個人ローン・デ'フォルト率	May	--	5.90%
ブラジル	6/29	FGVインフレIGPM(前年比)	Jun	-0.76%	1.57%
ブラジル	6/29	中央政府財政収支	May	-20.0b	12.6b
ブラジル	6/29	長期レート	Jul/01	7.00%	--
米	6/29	GDP(年率/前期比)/確定値	1Q	1.20%	1.20%
ブラジル	6/30	全国失業率	May	13.6%	13.6%
ブラジル	6/30	基礎的財政収支	May	-21.5b	13.0b
ブラジル	6/30	Nominal Budget Balance	May	-60.7b	-15.4b
ブラジル	6/30	純債務対GDP比	May	48.0%	47.7%

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しております。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて、お客様御自身でご判断下さいよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。